

[MENU](#)[SEARCH](#)[INDEX](#)[JAPANESE](#)[LEGAL STATUS](#)

1 / 1

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number :

58-210873(43)Date of publication of
application :**08.12.1983**

(51)Int.Cl.

B05C 1/02
 // B05C 11/04
 B42C 9/00
 C09J 5/00

(21)Application
number :**57-094431**(71)
Applicant :

(22)Date of filing :

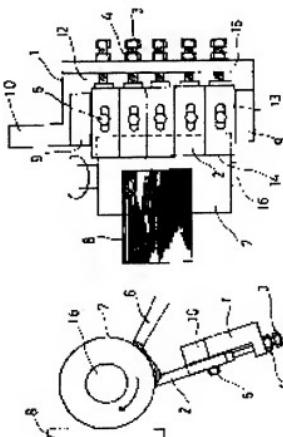
02.06.1982(72)
Inventor :**TOPPAN PRINTING CO LTD****TAKEMOTO MASAKI
TSUGIMURA KAZUYOSHI**

(54) DOCTOR MECHANISM FOR GLUING ROLL

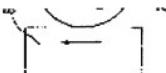
(57)Abstract:

PURPOSE: To correct the deviation in the amt. of the glue to be scraped and to improve the efficiency and quality in gluing for bookbinding, by providing divided doctors, and making the coating film of the glue in the axial direction of a gluing roll adjustable.

CONSTITUTION: A gluing roll 7 provided with a supply nozzle 6 for supplying glue on the upper circumferential surface of the roll 7 is disposed in a vertical or diagonal direction. A holder 1 for glue scraping doctors is disposed in parallel with the revolving shaft 16 of the roll 7 so as to contact the circumferential surface of the roll 7 at a certain angle. Plural divided doctors 2 which are divided suitably are provided in parallel with the holder 1 so as to be made movable in and



out. The amt. of the glue to be coated is made adjustable in the axial direction of the roll 7. The deviation in the amt. of the glue to be scraped is corrected and the efficiency and quality of gluing for bookbinding are improved by the above-mentioned doctor mechanism.



⑪ 公開特許公報 (A)

昭58—210873

⑫ Int. Cl. ³	識別記号	序内整理番号	⑬ 公開 昭和58年(1983)12月8日
B 05 C 1/02	1 0 2	6816—4F	
// B 05 C 11/04		2121—4F	発明の数 1
B 42 C 9/00		6822—2C	審査請求 未請求
C 09 J 5/00		6770—4J	

(全4頁)

⑭ 粘付ローラ用ドクター機構

⑮ 発明者 次村和義

東京都台東区台東1丁目5番1

号凸版印刷株式会社内

⑯ 特願 昭57—94431

⑰ 出願 昭57(1982)6月2日

⑱ 発明者 竹本正基

東京都台東区台東1丁目5番1

号

東京都台東区台東1丁目5番1

号凸版印刷株式会社内

明細書

1. 発明の名称

糊付ローラ用ドクター機構

2. 等の請求の範囲

(1) 糊付ローラを垂直乃至斜方向に配置し、該ローラ上側周面に糊を供給する供給ノズルを設け、糊付ローラ回転軸に平行にローラ周面にある角度で接する糊収取ドクターを配した糊系装置の糊付板のドクター機構において、ドクターホルダー盤に適宜巾に分割され、ドクターホルダー盤に対して出し入れ可能に並設した複数の分割ドクターを収付け、糊付ローラ軸方向に糊面布量を調整できるようにしたことを特徴とする糊付ローラ用ドクター機構。

(2) 前記ドクターホルダー盤に対して出し入れ可能に一枚ドクターを備え、該ドクターに前記複数の分割ドクターを収付け、糊付ローラ軸方向の糊面布量を調整できるようにしたことを特徴とする特許請求の範囲第1項記載の糊付ローラ用ドクタ

—構構。

3. 発明の詳細な説明

本発明は、伝票、ノート、帳簿類の副本糊付加工において、副本糊付ローラ用の糊板板ドクターモーク機構に適し、特に副本加工用糊付板に垂直状態に糊付ローラを配置した形式の糊付板に使用するドクター機構の改良に関する。

従来、副本縫合用として使用する糊付板において、第1図のように糊付ローラ(7)を製品に対して直角又は斜方向に配置した形式の糊付板は、糊付ローラ(7)上側より供給ノズル(6)により糊を落下させて供給し、糊付ローラ(7)に接する糊取ドクター(8)で並布すべき糊付ローラ面の糊膜厚を一定にして、糊膜表面の質面あるいは背面に糊付するものであるが、糊膜面など被着物体の質面あるいは背面の厚味が薄い時は、この方式で問題ないが、厚味がある時は、糊をローラの上部から流すために、糊付ローラ(7)回転軸方向全長に作用する一枚ドクター(8)では、ドクターの角度だけの調整しか出来ず、時として該ローラ軸方向に沿って部分的に

糊を出したり取ったりする事が出来ない。更に従来の場合、糊付ローラ(7)の材質が金剛など硬い材質であれば一枚ドクター上でから下まで均一の糊膜厚を形成することはできるが、ローラの材質がスポンジ、ゴム、毛糸状の布帛の場合、ローラ自身に糊が浸み込むためにドクターを適正な糊膜厚を形成するように糊付ローラに一定に当てたとしても、ローラ自身に糊が浸み込んでいるため均一にすることは困難であり、本発明はドクター機構を改良することにより上記問題を解決することを目的とするものである。

本発明の要旨を説明すれば、糊付ローラを垂直乃至斜方向に配置し、該ローラ上側面に糊を供給する供給ノズル(6)を設け、糊付ローラ回転軸回りに平行に、ローラ周囲にある角度で接する糊収ドクター(1)を配した紙張類等の製本糊付機のドクター機構において、ドクターホルダー盤に沿って糊付ローラ(7)を垂直方向に配置し、糊付ローラ(7)の上側面に分割され、ドクターホルダー盤に沿って出し入れ可能な並設した複数の分割ドクターを取付け、糊付ローラ側方向に糊膜厚を調整できるように

したことを特徴とする糊付ローラ用ドクター機構である。

本発明を更に下面に從って詳細に説明すれば、第1図は従来の糊付機ドクター機構の斜視図、第2図は本発明ドクター機構の平面図、第3図は本発明ドクター機構の側面図であり、第2図垂直糊付ローラ(7)を中心回転する糊付ローラ(7)の上側面側面に糊を供給洗下せしめる糊供給ノズル(6)を設け、糊付ローラ(7)の底面側面を紙張類(8)などの被施工体の糊面あるいは背部に当接させながら回転して糊を塗布するものであり、第3図ドクターホルダー(1)の底板(2)のそれぞれ糊供給部にガイド(9)、(9)を設け、該ガイド間に複数の遮光巾に分割したドクター(2)を並列に、固定ボルト(5)、及びドクター(2)の底孔(3)によりホルダー(1)の底板(2)に締結し、ドクター(2)の刃部(4)と反対側に調整ボルト(3)及び固定ナット(4)を駆受側板(6)に締結し、ホルダー(1)の一端部に備えたドクターホルダー取付部(7)により糊付ローラ(7)の軸回りに平行に、ある内側にて糊付ローラ(7)周面に接するように糊付機の本体框架に取付け

るようとしたものである。

本発明は第3図側面図に示すように、ホルダー(1)の底板(2)にそれぞれ遮光巾のドクター(2)を分割して並設したもので、各ドクター(2)は底板及び上下両端ガイド(9)、(9)に沿って前面左右方向に出し入れできるように各ドクター(2)に設けた進出長さの差孔及びボルト(5)により底板(2)に糊面固定される。ドクター(2)の左右方向の調整はドクター(2)の刃部(4)と反対側端部をホルダー(1)端部に一体に形成された駆受側板(6)に接する調整ボルト(3)の先端の位置決めにより行なうことができる。各分割ドクター(2)のホルダー(1)に對する出し入れは、固定ボルト(5)及び固定ナット(4)を緩めて行なう。

本発明分割ドクター機構は、糊付ローラ(7)の周面に供給される糊料をローラ(7)の巾方向の各箇所において、ドクター(2)により採取することができ、ローラの巾方向において各箇所の糊膜量を設定するものである。

本発明は、更に前述の第1図糊付ローラ(7)を垂直乃至斜方向に配置し、該糊付ローラ(7)上側面

に糊を供給するノズル(6)を設け、糊付ローラ回転軸回りに平行にローラ周面にある内側にて接する糊収ドクター(1)を配した紙張類等の製本糊付機のドクター機構において、第4図ドクターホルダー盤(1)に對して出し入れ可能な一枚ドクター(2)を備え、該ドクターに前記複数の分割ドクター(2)を取付け、糊付ローラ(7)側方向に糊膜厚を調整できるようにしたことを特徴とするもので、本発明を前面第5図に從って更に説明すれば、ドクターホルダー盤(1)上下化上部外側ガイド(9)、下部外側ガイド(9)を一体に設け、上部外側ガイド(9)及び下部外側ガイド(9)に對してそれぞれ直角に側板(4)、(4)を設け、ホルダー盤(1)に一枚ドクター(2)をホルダー盤(1)の上下両端にある前記ガイド(9)、(9)に案内されて前記移動可能に駆使せしめ、一枚ドクター(2)の刃部(4)と反対側の端部に調整ボルト(3)駆受側板(6)を一体に設け、該ドクター(2)の上下端部に前記ガイド(9)、(9)に接する上部中間ガイド(9)及び側板(4)にそれぞれ駆使する調整ボルト(3)及び(3)を設け、

固定用ナット部、凹によりボルトを固定あるいは締めることができる。一枚ドクター頭の底板凹に分割ドクター(2)を複数個並設し、該ドクター(2)に長孔凹を孔設してドクター一組の底板凹に固定ボルト部により出し入れ可能に構成する。各分割ドクター(2)の刀部凹と対反側端部に振脱部間に自由回転状態にあり、側取凹に各々配置する調整ボルト部により各ドクター(2)は、中間ガイド(4)、頭の内側に沿ってそれに規制されて、ホルダー盤(1)及び一枚ドクター頭に対しても出し入れができる。一枚ドクター頭及び分割ドクター(2)はそれぞれホルダー盤(1)に對して僅々に出し入れができる。ドクター頭は上側端部に孔設した長孔凹を複合する固定ボルト凹をホルダー盤(1)の底板凹に配置して固定する。第5図において、分割ドクター頭は上下方向に8箇所付けられているが、分割ドクター頭の個数及び巾は固定しない。

上記ドクター機構の作動について第4図に従って説明すれば、一枚ドクター頭はホルダー盤(1)の底板凹面に對して振脱可能に取付けられ、固定ボ

ルト頭を締め、該ドクター頭の刀部凹と対反側にある構板(2)外側を調整ボルト部及び切により押圧せしめて前方(頭面左側)に突出せしめ、刀部凹を糊付ローラ(7)周面に接触せしめることができる。分割ドクター(2)は、ドクター頭の底板凹面にボルト部により取付けられており、ドクター頭の刀部凹と対反側に自由回転状態に連結する調整ボルト部は構板凹に配置されており、分割ドクター(2)の各固定ボルト部を緩め、調整ボルト部を回転して各ドクター(2)の刀部凹を一枚ドクター頭の刀部凹より更に突出せしめて糊付ローラ(7)周面に接触せしめる。このようにして第4回供給ノズル(6)により糊付ローラ(7)周面に供給された糊はローラ(7)周面に接触するドクター頭及びドクター(2)によりローラ巾方向に均一に掻取られ、適切な塗布量の糊が模具類(8)などの被塗布体の側面あるいは背部に糊付けされる。

本発明は、多孔質な然も柔軟な糊質からなるローラ、例えはスポンジ、ゴム、モルトンあるいは毛糸状の糊付ローラ周面の糊付量を分割ドクタ

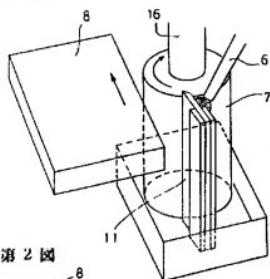
ーによりローラ巾方向に均一にならすことができ、柔軟な材質の糊付ローラに対するドクタリングにおいても糊の掻取り音に倒りを生ずることのないよう位調整することができる。塗布すべき模具類の被塗布に応じて適宜塗布位置を調整することができるなど、低廉、ノート等の模具類、あるいは帽子類の製本加工における糊付加工の能率及び品質の向上に効果的な威力を発揮するものである。

4. 図面の簡単な説明

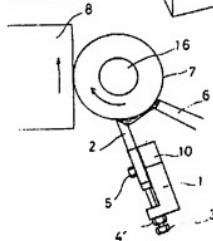
第1図は従来の糊付機の概略説明例視図、第2図は本発明ドクターの平面図、第3図は本発明ドクターの側面図、第4図及び第5図は本発明ドクター機構の他の実施例を説明する平面図及び側面図である。

- (1)…ドクターホルダー (2)…ドクター
- (6)…糊供給ノズル (7)…糊付ローラ (8)…被塗布体 (9)…ガイド (10)…ドクター 頭…ドクター 頭、凹…ガイド

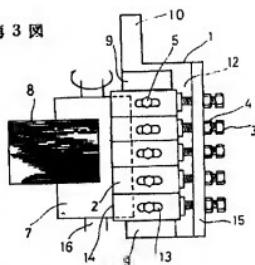
第1図



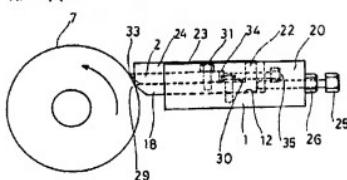
第2図



第3図



第4図



第5図

